

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成29年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成30年7月

福岡市

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	13
全体的な状況	15
項目別の状況	22
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	22
2 患者サービス	40
3 医療の質の向上	48
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	58
2 事務部門の機能強化	60
3 働きがいのある職場環境づくり	62
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	64
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	66
2 収支改善	72
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 福岡市立子ども病院における医療機能の充実	84
2 福岡市民病院における経営改善の推進	86
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	88
第6 短期借入金の限度額	88
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	88
第8 剰余金の使途	88
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	89
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	91
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	93

はじめに

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成29年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

地方独立行政法人制度については、平成29年6月に地方独立行政法人法が改正(平成30年4月施行)され、評価にあたっては、評価を実施する際の評価主体が評価委員会から設立団体の長へ変更されたが、市長が評価する際、評価委員会は市長に意見を述べることを条例で定めている。

今回の法改正を踏まえ、福岡市において、平成30年6月22日に「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」を新たに策定し、評価を行った。

また、評価委員会を2回開催し、市の評価案に対して評価委員会から意見を聴取し、その意見を反映させたうえで、評価結果としてとりまとめたものである。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	寺 坂 禮 治	福岡市医師会 副会長
副委員 長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	一 宮 仁	浜の町病院 院長
	花 岡 夏 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第3期中期目標期間の初年度である平成29年度の業務実績に関する評価については、小項目評価の結果を踏まえ、第1及び第4の大項目評価は「評価A」、第2及び第3は「評価B」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、両病院ともに、高度専門医療、救急医療等の更なる充実を図りながら、地域医療への貢献、経営の効率化等取組を実施していることなどから、平成29年度の業務実績は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

地方独立行政法人制度の特長を生かし、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった運営を行うとともに、外部理事を含む理事会を定期的を開催し、運営管理体制の徹底が図られている。

福岡市立こども病院においては、これまで培ってきた小児医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、患者ニーズや医療環境の変化に即した新しい診療科の設置や診療体制の見直しを行っている。

福岡市民病院においては、4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、高度救急医療の対応強化及び感染症医療の機能の充実にも取り組んでいる。

経営面では、人員の適正配置や救急医療の体制充実により、病床利用率や手術件数が増加、また費用削減にも取り組んだ結果、当期純利益が、福岡市立こども病院において、9億2,500万円余、福岡市民病院において1億4,700万円余となっており、経営基盤の強化・収支改善が順調に図られている。

全体評価にあたって考慮した内容

〈重点的な取組〉

〈福岡市立こども病院〉

腎・泌尿器センターを新設した。また、NICUにおける効率的・効果的な運用やHCUへの体制整備等により、それぞれの病床利用率が向上した。退院時アンケートの結果をもとに、屋外案内看板の改良や病室内シャワー室の環境整備等に取り組んだ。ホームページからの再診予約システムについては、対象診療科を拡大した。

重症患者の円滑な受入れ、高額医療機器稼働率の向上、施設基準の取得、未収金の回収等、収益確保に関する取組を行った。

〈福岡市民病院〉

4疾病への対応を中心に、難易度の高い手術等の提供を推進した。また、医師、看護師の定数管理を行い、救急専門医を増員したことにより、救急医療体制の充実を図った。

大型医療機器等の共同利用の推進、地域医療連携室における入退院支援体制の充実を図った。

「患者サポート相談窓口」の相談対応の強化・充実を図ったほか、独自設定した指標を加えた「病院指標」をホームページ上にわかりやすく公開した。

診療体制の充実や機能の強化による収益確保、材料費等の費用削減に向けた取組により、約1

億 4,700 万円の当期純利益を確保した。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を高めるため、積極的に病病連携・病診連携に努めている。

〈特筆すべき取組〉

≪福岡市立こども病院≫

先天性心疾患の手術症例数や川崎病センターにおける症例数が全国一となった。調査研究の結果をまとめた論文が米国一流誌に掲載された。

産科において、「多胎外来」「胎児心エコー外来」を新設、また、急性期リハビリテーションの実施促進のため、リハビリテーション科を新設した。

≪福岡市民病院≫

引き続き参加した「QI プロジェクト」において、好事例として取組実績が認められた。

看護相談窓口を開設し、患者や家族の不安や疑問について、一元的に対応できる体制を整えた。

評価にあたっての意見、指摘等

≪福岡市立こども病院≫

・ホームページからの再診予約システムの診療科拡大は、高く評価できる。

≪福岡市民病院≫

・ホームページのトップページに病院指標のバナーを貼っておりわかりやすい。

・経営基盤の強化に向けて頑張っており、収益確保の要となる病床利用率が改善している点を評価したい。

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 122 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
それぞれの病院に求められる高度専門医療について、患者のニーズや医療環境の変化に即して充実を図るとともに、医療の質の向上に向けて、さまざまな取組を行っている。多数の項目で目標を上回る成果を上げており、計画以上に進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1医療サービス	(1)良質な医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(3)災害時等の迅速かつ的確な対応	3	1	3	
2患者サービス	(1)患者サービスの向上	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)情報発信	4	1	4	
3医療の質の向上	(1)病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2)信頼される医療の実践	こども病院	3	2	6
		市民病院	4	2	8
合計			22	a 81	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 66		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 良質な医療の実践 ア福岡市立こども病院」

- 腎・泌尿器センターやリハビリテーション科の新設、NICU・HCUの効率的・効果的な運用など、医療環境の変化等を踏まえ、高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実が図られた結果、新規入院患者数、手術件数、救急搬送件数をはじめ、すべての指標において目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア福岡市立こども病院」

- 福岡県医師会診療情報ネットワーク(とびうめネット)の参加や「福岡県小児 等在宅医療推進事業」の拠点病院として地域ネットワークの構築や院内研修実施、「福岡県小児慢性特定疾病自動等レスパイト支援事業」への参加など、地域の医療機関との連携推進に向けて様々な取組を行っており、すべての指標について目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ福岡市民病院」

- 大型医療機器等の共同利用、医療従事者向けの研修会や地域医療機関への訪問等、地域医療支援病院として地域医療に貢献する役割を果たすよう様々な取組を行っており、地域医療連携室における入退院支援体制の充実により逆紹介率が150%を超えるなど、すべての指標において目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 患者サービスの向上 ア福岡市立こども病院」

- 退院時アンケートの意見等を踏まえ、売店の弁当の品揃えの拡充や救急時に経口補水液が入手できるよう屋外に自販機を新設したほか、患児家族滞在施設(ふくおかハウス)の運営に当たっては高い利用率を維持するなど、来院者の利便性向上のため、ハード・ソフト両面で計画どおり院内環境の整備を進めた。
- 特に、ホームページからの再診予約システムの対象診療科の拡大や、退院時アンケートの高い水準を維持した目標を達成したことなどを積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(2) 情報発信」

- ホームページ等を活用し、病院が持つ機能等について、分かりやすい情報発信に取り組んだほか、こども病院フェスタの規模・内容を拡充したことにより、多数の市民等に対し認知度を向上させた。
- 特に福岡市民病院では、29年度から多数の病院指標を独自設定し、開示する情報の充実に努めていることを積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア福岡市立こども病院」

- 「インターンシップ&病院説明会」の開催(6回)や看護学実習の受入れなどの人材確保に向けた取組、また専門性向上に向けた看護職員の計画的研修及び資格取得に対する支援、医師及び看護師の支援体制の強化など、病院スタッフの確保及び専門性や医療の質の向上に向けた取組が多方面で実施されていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ福岡市民病院」

○ 医師, 看護師, その他の職種や新規採用職員を含め, 適正数の確保と働きやすい職場環境づくりに向けた様々な取組を進めた結果, 医師の増員により救急医療体制が更に充実されたことから, 年度計画を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ福岡市民病院」

○ 信頼される医療の実践に向け, 感染防止対策の徹底や他病院との情報交換・相互評価, クリニカルパスの見直しや整理, 薬剤師による投薬事故防止活動など, 様々な取組を行うとともに, 引き続き参加した「QIプロジェクト」においては, 好事例として取組実績が認められたことなどから, 一部の指標が目標値を下回ってはいるものの, 総合的に勘案し, 年度評価を上回って実施していると判断されるため, 「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見, 指摘等

- ・こども病院におけるホームページからの再診予約システムの診療科拡大は, 高く評価できる。
- ・市民病院は, ホームページのトップページに病院指標のバナーを貼っておりわかりやすい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 100 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
理事会の決定に沿った運営が行われるとともに, 両病院ともに迅速な協議が行われている。事務部門の機能強化や働きがいのある職場環境づくりについても年度計画を着実に実施し, 内部統制も適正に維持できていることから, 年度計画を順調に実施していると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	3	1	3
2 事務部門の機能強化	3	1	3
3 働きがいのある職場環境づくり	3	1	3
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	3	1	3
合計		4	a 12
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし。

④ 評価にあたっての意見, 指摘等

特になし。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 118 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
両病院とも増収及び費用削減に取り組み, 経常収支比率をはじめとする経営3指標が目標値を上回ったほか, 病床利用率, ジェネリック医薬品導入率も目標を達成したことなどから, おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2) 投資財源の確保		3	1	3
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2) 費用削減		3	2	6
合計			11	a 39	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 33		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 ア福岡市立こども病院」
 ○定例会議等で定期的に増収対策や費用削減の検討を重ね, 迅速に職員に決定事項を周知した結果, 効率的な病院経営が病院全体に進み, 経常収支比率等の経営3指標がいずれも目標値を大きく上回ったことから, 年度計画を上回って経営基盤の強化が図られていると判断されるため, 「評価4」とする。

<p>「1-(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 イ福岡市民病院」</p> <p>○高度救急医療体制の充実を図ったことにより、救急患者搬送件数及び手術件数が目標値を上回ったほか、高度専門医療を提供する上で必要となる資源を投入したことにより、人員体制の最適化が図られるなど、経営基盤の強化が図られた。</p> <p>○その結果、数値目標を設定した3項目のすべての指標を達成していることを積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>
<p>「2-(1) 収益確保 ア福岡市立こども病院」</p> <p>○先天性心疾患に対応できるよう、看護師の増員や専任循環器医師の配置による体制を整備した結果、病床利用率が向上し、増収につながった。</p> <p>○また、重症患者の円滑な受入れ、高額医療機器稼働率向上、施設基準の取得、未収金の確実な回収などの取組みにより、収益確保に関する実績値のすべてが年度目標値を大きく超えていることから、年度計画を上回っていると判断されるため、「評価4」とする。</p>

④ 評価にあたっての意見、指摘等

<p>・福岡市民病院において、経営基盤の強化に向けて頑張っており、収益確保の要となる病床利用率が改善している点を評価したい。</p>
--

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとすべき措置

① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある(特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある(特に認める)
【 150 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
福岡市立こども病院においては、医療機能の充実を図るとともに、先天性心疾患の手術症例数や川崎病センターにおける症例数が全国一となったことなどの複数の特筆すべき成果を挙げていること、また、福岡市民病院においては、地域の基幹病院としての役割を果たしつつ、当期純利益を確保し、収支が改善されたことなどから、計画以上に進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	5	2	10
2 福岡市民病院における経営改善の推進	4	2	8
合計		4	a 18
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」

○こども病院においては、腎・泌尿器センターの新設をはじめ、当初、計画していた全ての項目について高いレベルで達成した上で、さらに先天性心疾患の手術症例数や川崎病センターにおける症例数が全国一となったほか、海外でも調査研究の成果が認められるなど、複数の特筆すべき成果を挙げたことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

「2 福岡市民病院における経営改善の推進」

○地域包括ケアシステムにおける地域の基幹病院としての役割を果たしつつ、診療体制の充実や機能の強化により収益を確保するとともに、材料費等の費用削減に取り組んだことにより、約1億4,700万円の当期純利益を確保されたほか、アセットマネジメント推進の観点からは、中長期修繕計画を策定し、施設・設備の適切な維持管理に取り組んでいる。

○収支が改善された点を積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

特になし。

(2) 小項目評価
別紙のとおり